

第4回芦川塾 石積み研修会

「座間谷戸山現場研修会」が第100回となりました。
それを記念しての特別研修会が、山梨県笛吹市芦川町であり、参加しました。



題して「石積み現場研修会」!

数年前にも実施された時は都合が合わず参加できなかったのが、今回は楽しみにしていました。

芦川は座間谷戸山現場研修会の講師である石川啓吾さんが住み、活動している所です。

上の写真のように、見事な石積みがあちこちにあります。

この写真は、斜面に作られた段々畑の畦(法面)を石積みしているものです



このあたりは石が多く、開墾すると出てくる大きな石の
行き場の必要性にも迫られた結果、
こうした石積み文化が発展したそうです。

美しく、そして丈夫で実用的。
そんな石積みが見られる芦川は、
このような山あいの土地です。



さて、私たち研修生は地元の名人、
霜村保正さんにご指導を受けました。
まずは1段目。



「裏込め」をしながら積んでいきます。



2段目。奥行を長く取ります。
時にはハンマーで石を削ります。
どこにどの石を積んでいけばいいのか、私たちが悩んでいると、
霜村さんが苦も無くにこやかに指示を出します。
なぜわかるんだ～？



なんとか、出来上がりました！

霜村さんの技はもちろん素晴らしいのですが、人柄も素晴らしい。
こんなリーダーならついていきたくになります。



町の石積みを石川啓吾さんにあちこち紹介していただき、夕方「農啓庵(どうけいあん)」へ。
ほっと落ち着く古民家です。



私は残念ながらここで別れて帰途へつきました。
ほかのメンバーは宿泊です。

石積みだけに限らず、「自然とともに生きる暮らしの技」はたくさんあります。
パソコンができるより、こういうことができることの方が、大切だなあと感じます。

この記事は当日の受講生の早川広美さんのブログから、ご本人の許可を得て転載しました。

早川広美さんのブログ

あおぞら日記 <http://aozorashizen.blog.fc2.com/>